

東日本大震災復興構想会議 資料

〈提 言〉

災害時における安全・安心の確保対策



宮城県知事 村井 嘉浩

平成23年6月4日

災害時における安全・安心の確保対策

背景

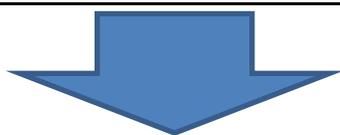
震災により行政機能や地域コミュニティの防犯機能が喪失



混乱に乗じた犯罪等、犯罪増加が懸念



住民の安全・安心の確保が必要



現状

被災地等の治安回復・維持

- 被災地等における犯罪の取締り機能の回復・維持
 - ・被災地への県外からの警察官派遣による治安維持の強化
 - ・被災した警察施設、交通安全施設の復旧及び装備品の補充
 - ・パトロールや犯罪取締りの強化
 - ・被災地以外でも発生した、震災に便乗した詐欺行為等への対策
- 被災した地域住民の治安に対する不安の解消
 - ・避難所や応急仮設住宅等における警察官による防犯対策、相談受付
 - ・流言飛語への対応



提案

復興期における安全・安心な地域づくりに加え
将来の災害発生時に、現在生じている治安上の問題が
再び起きないようにすることが必要

キーワードは「連携」「技術」

- 地域社会における連携
 - 例：住民ボランティアの組織化支援により被災者の不安解消や地域の絆を再生
住民と警察との合同パトロールなどの連携
- 最新の科学、通信技術の導入による防犯・防災機能の強化
 - 例：遠隔避難誘導が可能な防犯・防災カメラ、太陽光発電防犯灯、防災信号機の設置
防災情報伝達手段の多重化、高速化（衛星通信の高度利用）